

医療コミュニケーション

科目到達目標:

医療従事者として患者や家族および他の医療職者との良好な人間関係を構築するために必要な態度とコミュニケーションに関する基本的知識ならびに技能を習得する。

科目責任者(所属): 藤原 由記子 (基礎看護学)

連絡先: アレスコ棟1階 教員室107室 TEL 0859-38-6307 E-mail awanou@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/1(月)	1	基礎看護学実習室	医療コミュニケーションとは何か	藤原 由記子	基礎看護学	コミュニケーションの目的や方法について基礎知識を習得できる	伝達、共感、共有、人間関係、感情、内省
2	4/8(月)	1	231	コミュニケーション能力を進行性に失っていく患児への対応について	二宮 治明	生体制御学	双子の姉妹がニーマン・ピック病C型に罹患した一家の事例を学び、両親の対応に共感できるか否かを体験する。	ニーマン・ピック病C型、知的退行
3	4/15(月)	1	基礎看護学実習室	患者様、臨地実習指導者とのコミュニケーションスキルの基本	池田 智子	母性・小児家族看護学	基本的なコミュニケーションマナーを踏まえ、患者様とのコミュニケーション、臨地実習指導者とのコミュニケーションスキルを習得する	マナー、態度、クッション言葉、指示受け、報告、連絡、相談
4	4/22(月)	1	262	コミュニケーションと倫理	大庭 桂子	成人・老人看護学	医療者を目指す者として、臨床の場で、倫理的に行動するために必要な思考とコミュニケーションのあり方について、事例を通して考えることができる。	倫理、倫理原則、連携、コミュニケーション能力
5	5/13(月)	1	231	コミュニケーションに困った時、困った人とのコミュニケーション	吉岡 伸一	地域・精神看護学	医療現場におけるコミュニケーションの技術、要点、困った時や困った人との対処などについて、必要な技術・スキル・マインドについて理解し、実践できる。	コミュニケーション技術・マインド・スキル、ジョイニング
6	5/20(月)	1	基礎看護学実習室	なぜ実習で報告・相談を苦手と感じてしまうのか	藤原 由記子	基礎看護学	報告・連絡・相談を行う時の自己のコミュニケーションの特徴を振り返ることができる。自己の強みとなるコミュニケーション能力について考えることができる	ジョハリの窓、アサーティブ、報告・相談に必要な準備
7	5/27(月)	1	基礎看護学実習室	医療説明(疑似体験)	下廣 寿	病態検査学	医療従事者として検査結果を伝えるスキルを習得する。	検査結果、対話、シミュレーション
8	5/27(月)	2	基礎看護学実習室	医療従事者に必要なコミュニケーション	藤原 由記子	基礎看護学	医療従事者としてのコミュニケーションスキルについて考察し、自己の課題を具体的に見出すことができる	コミュニケーションの目的、自己の成長、医療従事者としての責任

教育ブランドデザインとの関連: 1,2,3,4,5,6,7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連: 1,2,3,4

授業のレベル: 3

評価: 各演習後レポート 各演習後レポート 70% 全演習後レポート 30%

実務経験との関連: 看護師、臨床検査技師、医師などの業務に携わった経験のある教員が、その経験を活かし、各人の専門分野に関する講義・演習を行う